

今なら、間に合う「かさま」づくり

少子・高齢化社会に対応できる強いまちづくりが
求められている現実・・・(西山 猛)



次代を担うかさまの宝



31年の歴史を閉じる小学校



過去最も少ない成人者



安心・安全で安定した社会づくり

編集後記

地方行政の特色とは、人が母親の胎内に宿ったときから、全過程、全生涯で直接的に深い繋がりを持つところにある。

一方、国の行政は、地方行政の外側に位置し、その大半が間接的に私たちと関わると言える。

つまり、地方行政の重要性を再確認した時、市議会の立場とは、行政サービスの充実化を求め、予算等の執行を監視する最大のチェック機関として、その重要性を見直すべき時期ではないのだろうか。不便を便利に、不満を満足に、不安を安心にする、不を取り除くまちづくりを全市民が求めていることに対して、市議会が危機感迫る中、目的意識を持って更なる自治体構成に向け強い「かさま」を目指し、身を粉にするべきと思わずにはいられない。

(西山 猛)

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 鹿志村清一 |
| 副委員長 | 畑岡 洋二 |
| 委員 | 橋本 良一 |
| 委員 | 鈴木 貞夫 |
| 委員 | 西山 猛 |
| 委員 | 町田 征久 |